

將ノ器ニ非ト、朝夕ノ言種ニ嘲哢ス、

滑稽

滑稽ハ、一ニ利口、又ハ興言ト云ヒ、後ニオドケトモ云フ、巧ニ諧謔ノ言ヲ弄シ、或ハ之ヲ動作ニ現ハシテ、以テ能ク人ノ頤ヲ解クヲ謂フ、而シテ利口ノ事ハ、尙ホ言語篇ニ載セタレバ、宜シク參看スベシ、

名稱

〔下學集〕下態藝滑稽義也

〔書言字考節用集〕四倫放茆者

〔倭訓栞〕古中編八こつけい

〔倭訓栞〕前編四十五おどけ

てなしにしたがひと見えたり、或は放曠者をおどけものともめり、演義文に、眞笑など見えたり、〔物類稱呼〕五言語ざれたはふる、事を上方にてほたえると云、關東にてをどけると云、又でうけるといふ、又そはへるといふ、陸奥にてあだけるといふ、

滑稽例

〔古事記〕上故以是天照大御神見畏閉天石屋戸而刺許母理此三字坐也略○中 天宇受賣命、手次繫天香山之天之日影而爲鬘、天之眞拆而手草結天香山之小竹葉而訓小竹於天之石屋戸伏汗氣此二字而踏登杼呂許志此五字爲神懸而掛出胷乳裳緒忍垂於番登也、爾高天原動而八百万神共咲、

〔古語拾遺〕既而且降瓊々杵之間、先驅還白、有一神居天八達之衢、其鼻長七咫、背長七尺、口尻明曜、眼如八咫鏡、即遣從神、往問其名、八十万神皆不能相見、於是天鈿女命奉勅而往、乃露其胸乳、押下裳